



NPO法人
子ども家庭リソースセンター



おたより

- 赤い羽根共同募金地域配分事業に感謝して・・・P 1
- 「0歳児の子育て親子支援」・・・P 2
- 報告書「産み 育てたくなる街へ」を作成して・・・P 3
- ノーバディズ・パーフェクトプログラム祝 30周年・・・P 4
- レインボウプログラムを実施して・・・P 5
- NP ファシリテーター全国交流・研修会ご案内・・・P 6
- インフォメーション・・・P 7, 8



赤い羽根共同募金地域配分事業に感謝して・・・

理事長 福川 須美

私たちの本拠である北区王子の事務所は、元ホテルの駐車場だったところを、大家さんのご厚意で格安でお借りしていますが、入口は全面ガラス戸で、なんの飾りもなく、看板らしきものもなく、時々通り過ぎて迷う方などがいました。そこで、赤い羽根共同募金の地域配分事業に応募して助成金をいただき、ウィンドウサインという方法で、ガラス戸を飾ることができました。デザインは私の元同僚だった造形の専門家に依頼しました。これなら迷う人もいないでしょう。

ちなみに北区は赤い羽根共同募金活動が盛んで、都内でも有数の募金額を達成されるそうです。募金を集めてくださった方々を招いて事業の報告会が開催されています。集めた募金が役立っていることを伝えて感謝し、今後ともよろしく願いますというわけです。ありがたいですね。

これまでに当センターは、エアコン、0歳児の愛着形成の事業そして今回と、毎年配分いただいております。来年度も配分いただけるのとことで、事務所内の備品整備棚を新設して、資料や図書をわかりやすく展示できるように整える予定です。

また新しい年度が始まります。昨年度を振り返り、新年度の計画を立てて、新たな歩みを進めたいと思います。それぞれの事業を着実に実施していくことはもちろんですが、マンネリ化するのではなく、社会環境の変化に機敏に対応し、発展する方向を探り、創造的に実行していく努力が求められていることをひしひしと感じるこの頃です。

たとえば、ノーバディズ・パーフェクト(NP)事業ですが、近年、ファシリテーター養成講座の受講者が減少しつつあります。しかし親プログラムに参加した親たちの満足度は相変わらず高く、親としてのプラス方向への変容ぶりも感動的でさえあります。なんとか NP プログラムの素晴らしい効果をひろく認知してもらえるよう手を尽くしたいものです。9月29日にはファシリテーター全国研修・交流会パート(2)を開催します。今こそ NP プログラムの出番であることを確認しあい、それぞれ自信を持って実践の場を開拓していく力を高め合いたいものです。



日本子ども虐待防止学会 「0歳児の子育て親子支援」－愛着形成のための〈人育ち唄〉



永田陽子 片岡容子

「すべては子どもの笑顔のために」～守り・育み・社会へ～の投げかけで第23回日本子ども虐待防止学会・ちば大会が開催されました。多忙な12月にもかかわらず、今までで最大の参加者数だったと伺いました。大会副題が示す通り、子どもの育みへの対応やプログラム、そして、連携がシンポジウムや教育講演の柱となっていました。子どもの深刻な状況に向き合おうとする大人の力を感じた大会でした。



当センターからは表記タイトルで2時間のシンポジウムの参画ができませんでした。100部の資料は足りず、愛着形成への関心の高さ、そして乳児期からの愛着形成が社会的な課題となってきた事を再確認しました。愛着形成のツールとして、日本に伝わる乳児と大人とのかかわり方が心理的発達課題と一致すること及びそのかかわり方のポイント等映像も示し永田が前半で発表し、後半では片岡が、東京都児童相談センターの出前講座(お便り2017年6月に紹介)の様子と不安の高い子育てひろば利用の親子への寄り添いについての報告をしました。

フロアーからは、新生児集中治療室の医療従事者、乳児院・児童養護施設職員、乳幼児健診や新生児訪問担当の保健師、広場の子育て支援者等多職種の方から質問や感想をいただきました。皆、子どもの成長とその保護者支援の最前線の熱い思いを持つ方々です。乳児院や障がいを持つ子どもへの実践で、その効果を実感した経験はありましたが、医療部門の親子へも広げる必要性に気づかされた学会となりました。愛着形成、しかも発達初期の0歳児の親子のかかわり方である「人育ち唄」を子育て家庭支援者に届けたいとの思いがますます膨らんでいます。

学会がご縁で、当センター主催の「0歳児の愛着を育てるーコミュニケーションスキル」講座には関西や東北などからの参加もあり、日本各地の子育て支援者に広がるスタートになることを願っております。ご希望があれば、各地に出張します。お気軽にお問い合わせ下さい。



日本子ども虐待防止学会 第23回学術集会ちば大会
 日程:2017年12月2日(土)、3日(日) 幕張メッセ国際会議場
 テーマ「すべては子どもの笑顔のために 守り、育み、社会へ」
 大会特別講演 柏女 霊峰氏



NP実践報告書「産み 育てたくなる街へ ～NP石巻講座を通して～」を作成しました



石巻市教育委員会 石巻中央公民館 三浦敏広

石巻でのNP講座は5年目で 20 シリーズを迎えています。この間の参加者の動向を見てみると、後に子育てサークルや家庭教育支援チームに所属して支援者となる人が多く、注目されてきました。

昨年9月、NPO法人石巻復興支援ネットワークと中央大学教授 広岡守穂先生によって報告書がまとめられ、参加者の行動の変化とNP講座との関連が明らかになってきました。

報告書ではNP講座 15 シリーズまでの参加者 117 名を対象とし、講座終了時のアンケートおよび追跡調査用アンケートの結果を分析しました。

広岡先生は、NP講座のよさを「参加者が心のなかに閉じ込めていたものを自然に表出できるような講座である。だれもがこだわりなく思いを打ち明けることができるようなルールにもとづいて運営されるので参加者の評判は非常に高い」と指摘。またNP講座の特徴を「グループでの話し合いをメインとしていて、参加者が一人では気付く事ができなかった自身の能力、短所、長所などを発見してもらおうという趣旨がある。この講座を通して子育てに自信が持てるようになること、自己解決能力を身に付けることをねらいとしている。また講座が子育て仲間をつくるきっかけとして機能し、参加者同士が子育て仲間としてつながりを築いていけるよう支援している」と分析しています。一方で、NP講座の影響が比較的限られているのは、「夫との関係」であり、「震災により宮城県ではDV相談が30%以上増加している。NP講座によって夫婦の良好な関係を維持する仕組みをつくることは可能か、検討しなければならない。」と提言しています。

NP講座によって参加者自身も子どもも成長し、自信が付くことで意識や行動が変化、「支援される側」から「支援する側」に踏み出す力を得ていると感じました。この参加者の成長を支えるファシリテーターの役割も大きいことを指摘したいと思います。

今年3月、石巻市家庭教育支援チームは「文部科学大臣表彰」を受賞しましたが、活動の中核としてNP講座が位置付けられ、2～3年後には石巻市がNP講座の予算を確保する見通しができてきました。

講座開設には予算をはじめ、様々な困難があることは事実ですが、今後も、この報告書の結果を真摯に受け止め、自己研鑽を積んで講座を継続したいと考えています。





カナダのノーバディズ・パーフェクトプログラム 祝 30 周年！

伊志嶺 美津子

昨年暮れ、カナダ公衆保健機関健康促進センター長アンナ・ロマーノさんからノーバディズ・パーフェクト(NP)30周年を祝うメールが届きましたのでご紹介します。カナダではこのプログラムが30年以上全国の親たちに届けられてきたのですね。私たちがカナダでNPに出会って25年、プログラム実施に漕ぎつけて12年ほどになります。皆さんのご尽力により2017年度の実施プログラムは全国で101件、参加者数1036人でした。30周年まで18年、NPがこれからも長く引き継がれていくことを願っています。

～ご挨拶～

カナダ公衆保健機関は、ノーバディズ・パーフェクト親プログラム30周年を祝い、皆様にお伝えできることを大変喜んでおります。これは皆様方と私たちのコミュニティ、州、準州そして国際的パートナーからの支援と献身なしにはなし得なかったことです。

振り返れば、プログラムが～どんなトピックで話し合うのか、何の資料を使うか、プログラムが参加者にどのように役に立つかを確認しながら～それを決める中心に親がいて、まさにノーバディズ・パーフェクト流に発展してきたのは明らかです。

5冊のテキスト、からだ、安全、こころ、行動、そして親編の内容が、プログラムが依拠した参加者中心の考え方と同じく、プログラムの核となる基本原理となっていました。

何年もの間、数千の人々がNPファシリテーターとして養成され、カナダ中のさらに多くの人々がプログラムに参加しました。30年経っても養成への要望は続いていて、関係機関は、かかわる親のために柔軟にデザインされたプログラムの恩恵に浴し続けています。

プログラムはいくつかの言語に訳されて他の文化に適合し、日本、チリ、メキシコを含めた国々で実施されています。NPへの国際的な関心は続き、他国でもプログラム実施が注目されています。

2016年、NPプログラムからの情報が幅広いチップシートとして翻案され、一般向けにオンラインで利用できるようになりました。

親であることは報いられると同時に困難をかかえるものです。親へのサポートは、とくにその初期には誰にとっても、まして困難を抱えた親にとっては重要なことです。何年もこのプログラムを実践してこられた全ての皆様、カナダ中そして世界中でこのノーバディズ・パーフェクトプログラムを通して、幼い子どもたちを育てる親たちをサポートし続ける皆様に、私の感謝の気持ちが届くよう願っています。



ノーバディズ・パーフェクトプログラムは1980年代にカナダ東部4州の保健省が開発し、連邦政府が1987年に5冊のテキストを発行しました。それ以来、子育て中の親のための優れた予防型プログラムとしてカナダ全土で展開されています。

プログラムで使うテキスト「ノーバディズ・パーフェクト」が示すように、人は「学びながら親になっていく」「すべての親に支援が必要」であり、完璧ではない私たちがお互いを認め合い、支えあう子育てを大切にしています。

私たちは、このプログラムを1992年、ピーターボロの保健所で紹介されました。2000年には6名がオンタリオ州で研修を受けてファシリテーター資格を取得。同時にカナダ政府と交渉し2001年テキストの著作権を得て、翌年日本語版を出版しました。2005年にノーバディズ・パーフェクトジャパンに加盟、NPプログラムの普及に努めています。～当センターホームページより～

児童養護施設向け離婚・死別・喪失などの辛い体験をした子どもたちのためのプログラム



「レインボウプログラム」を実施して

レインボーファシリテーター 田中 やよい

「ぼくはぼく」「ぼくみたいなこどもは、ほかにはいないよ」「だってぼくはとくべつなこどもなんだもん」・・・

第一回目はこのような内容を「大きな声」で読んでもらいながらスタートします。

そして「レインボウって何?」「レインボウは家族に辛いことが合って、悲しんでいる子どもや大人のために作られました」と話をすると「あ〜わかった」と理解してくれます。

私は平日夕方の45分を頂き、児童養護施設の小4, 5年生の児童を数名ずつ2回(2年)担当させて頂きました。レインボウには「ジャーナル」と呼ばれる教材があり、それを中心に「今日の課題」をグループで話し合います。最初の頃には試し行動もありました。なぜか自分のことをまったくデタラメに話す子や、突然机の下に隠れる子がいました。

私自身理解できないけれども、そうせざるをえないのだろう・・・と受容しました。そして、そのくらい今なぜ自分がここにいるのかさえ理解のできない子もいることを実感しました。

20回のセッションをすすめるなかで、それぞれが自分の体験や身の上話を語ってくれることもありました。

進行形の家族の暴力の話に対しての苛立ちをストレートにぶつけてきた子がいました。

私はショックを受けましたが、ぶつけてくれることができたことは、ファシリテーターとしてはそれで良かったのかなあ・・・と後で思ったりしています。

20回を共に終えた仲間同士で「お祝い行事」と称して、室内型遊技場に出かけることも出来ました。なかでも「ボーリング」はほとんどの子が初体験のなか、うまくいかないことも多く、かわりばんこにふてくされそうになりながらも、最後には全員がストライクやスペアーを出すことが出来た事が、私にとっても良い思い出となりました。

季節を考えながら「本日のおやつ」を用意することも、私にとっては楽しみの一つでした。

保育士、指導員さん、お休みなく参加させて頂いたこと、お迎え等のご協力、心のこもったお礼の色紙、とても嬉しかったです。

最後に、コーディネーターの越智三佳さん、施設担当の大田智子さんに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

レインボウ・プログラムは、さまざまな喪失体験にあった子どもたちが、ファシリテーターによって安全を保障をされた場で、感情を安心してことばにし聴き合えるように、年齢に応じたレインボウ・ジャーナル（ワークブック）や絵本を用います。喪失体験によって起こる悲しみや混乱、怒り、罪悪感などの感情を仲間とともに受けとめ、理解し、それを乗り越え、新しく生きていく力をつけていくためのピアサポート・プログラムです。

日本では、子ども家庭リソースセンターにより小学生から中学生を対象にした『レインボウ』を使って、児童養護施設の子どもたちを中心に実施されています。



『なぜ、いま NP プログラムなのか Part 2』

～今の子育て事情に応えるNPプログラムとは～

カナダ生まれのNPプログラムが日本で普及されて10数年が経過します。

この間の子育て事情はどう変化したでしょうか。

そしてNPプログラムは子育て支援にどのように反映されたでしょうか。

いまの子育て事情に応えられるNPプログラムとして、その有効性や成果について、講師をお呼びして検証し、各地の実践報告を知って交流や研鑽をしませんか。

日 時： 2018年9月29日(土) 10時～16時30分

10:00～12:00 講演会 講師 汐見 稔幸氏

12:00～13:30 昼食、パネル交流会

13:30～16:00 研修会

特別参加「NPを導入して10年の成果～東京都北区から発信」(仮題)

会 場： 北区 北とぴあ8階スカイホール

参加費： 3000円

主 催： NPO法人 子ども家庭リソースセンター

共 催： トポスの会(NPファシリテーター学び合いの場です)

後 援： 北区(申請中)、協 力： 北区児童館館長会





1. NP 体験プログラム オリエンテーション 年4回

第1回 2018/4/15(日)終了

第2回 2018/7/8(日)、第3回 2018/10/14(日)、第4回 2019/1/13(日) 募集中

時間は全て 13:00～16:00、会場は CFRC。

受講料 2,500 円(テキスト代 500 円含)。定員 20 名。申込は、開講 2～1 か月前に CFRC 事務局まで。

2. NP ファシリテーター養成講座 年4回

通常講座 募集中 第1期 2018/5/19(土),20(日),26(土),27(日) 講師:伊志嶺美津子

募集中 第2期 2018/8/18(土),19(日),25(土),26(日) 講師:NP トレーナー

募集中 第3期 2018/11/22(木),23(金祝),24(土),25(日) 講師:永田陽子

募集中 第4期 2019/2/16(土),17(日),23(土),24(日) 講師:NP トレーナー

※第1期の会場は横浜の「こもれび」になります。場所はお申し込み時にお知らせします。

※第2～第4期の会場は王子にあります、リソースセンターです。

※時間はすべて、前半 2 日間で 9:30～16:30、後半 2 日間で 9:30～17:00、

※受講料 70,000 円(テキスト代 2,000 円および教材費は別)

資格申請される場合は、資格申請料 10,000 円が別途必要

定員 12 名。申込は、開講 3～1 か月前に CFRC 事務局まで。

3. NP アフタープログラム 年3回

※養成講座終了後、NP プログラム未実施の方は、3年ごと(推奨2年)に受講ください

第1回 2018/4/8(日)終了

第2回 2018/9/9(日)募集中

第3回 2019/2/3(日)募集中

時間は全て、フォローアップ研修は 9:30～12:30、ステップアップ研修は 13:30～16:30、会場は CFRC

受講料各 3,000 円。定員各 20 名。

申込は、開講 2～1 か月前に CFRC 事務局まで。NP プログラム実施にブランク(～2年間)のある方は、特に受講をお勧めします。

4. 子ども家庭リソースセンター「NPの会会員」について

NP ファシリテーター養成講座修了者は、全員加入です。今年度 2017 年度年会費未納入の方は、お早めにお手続きをお願いいたします。

年会費は、1,000 円です。会員期間は 4 月から翌年 3 月までで、年度更新になります。(毎年年会費のご案内を会報と一緒にお届けします。)

会費は、NP の会会員へのサポートを強化、質問・相談に随時応じます。NP のホームページの運営、会員の NP の実践をバックアップするために使われます。他に、年2回の会報発行、会員対象の NP フォーラムの開催、会員同士の交流、情報交換、ファシリテーション技能のステップアップを図る研修等の実施、などを予定しています。また、事務所を NP の会会員にも開かれた場にします。入会手続きは、CFRC 事務局まで。プログラムを実施予定のあるサイト(実施先)の要望に応じて随時開催。

実施先が未定の場合、受講希望者が 6 名以上に対して随時開催

※転居ほか、住所や連絡先等が変わる際には、CFRC 事務局まで必ずご連絡願います。



5. 支援者対象研修 (1) 0歳児の愛着を育てる『コミュニケーションスキル』講座

(2) 「聴く力」をつけ、保護者への対応力を高めよう

(3) 0歳児の観察力スキルアップ連続講座

- (1) 2018/8/19(日) 9:30～12:30 参加費 3000 円(当会正会員及び一日通し参加者は 500 円引き)
- (2) 2018/8/19(日) 14:00～16:30 参加費 2500 円 (当会正会員及び一日通し参加者は 500 円引き)
- (3) 2018/7/29(日) 8/26(日) 9/24(祝) 3 回とも午前 詳細は HP をご覧ください。

会場は(1)(2)とも北とぴあ 7階第一研修室 (王子駅徒歩 2 分) 講師:永田陽子

※どちらも受講者募集中。詳細はホームページ、事務局でご確認ください。

0 歳の赤ちゃんはどう接すればよいのだろう？

なかなか保護者の気持ちを受け取れない。保護者に寄り添う支援とは？

●出版物の紹介

*「0歳児支援・保育革命1」～0歳の子育て家庭支援・保育を問い直す～ 永田陽子著 ななみ書房ブックレット
内容は ・子育ての変化 ・愛着形成の重要性 ・0歳児のすばらしい能力 ・子どもが育つ環境再考 ・0歳児支援・保育革命など5項目から構成されています。

*「ノーバディズパーフェクト・プログラム実践ガイド」～実践への道しるべ～ トポスの会編集
1章プログラム開催までの道しるべから、実践の手引き、終了後の手続きなどを掲載。最後に読み応えのある実践記録を載せました。ぜひお手元に1冊おいてください。800円

●トポスの会(自主的なファシリテーターの学びの会)

6月10日(日)13:00～16:00子ども家庭リソースセンターにて

伊志嶺先生(NP マスタートレーナー)による「NP で良くつかうロールプレイをより学ぼう」です。

当センターのNPファシリテーター養成講座修了者は、どなたでも参加できます。(当日会費会員 300 円、非会員 500 円)。トポスの会に関するお問い合わせは、CFRC 事務局まで。

●寄付金のお願い

【寄付金お振り込み先】 ゆうちょ銀行 口座記号・番号 00130-4-651522
加入者名：NPO子ども家庭リソースセンター

★2017年度は、川島聡子様 松本三喜男様、竹内潤子様、伊藤雅子様からご寄付頂きました。ありがとうございます。

～ ご質問、お問い合わせ等は、下記のCFRC事務局まで ～

●ボランティアさん募集中

ホームページの更新を、昨年3月に CFRC を退職された川島聡子さんに協力して頂いています。CFRC は大変助けられています。ボランティアの方をお願いしたいことはまだまだあります。どうかご協力よろしくお祈りします。

NPO法人子ども家庭リソースセンター(略称:CFRC)

○所在地 〒114-0002 東京都北区王子 2-18-12ドムス王子 1階 ○Tel&Fax03-6755-2855

○E-mail info@kodomokatei.com ○URL <http://kodomokatei.com/>

○交通機関 JR 線王子駅北口改札から徒歩 8 分 地下鉄南北線王寺駅 5 番出口から徒歩 7 分

編集後記 原稿は人頼み、だから編集は楽なはずなのですが、それがなかなか思うようにはかどらないのが現実でした。今回も内容は充実しています。ご愛読下さい。齊藤まり子

編集・発行 NPO法人子ども家庭リソースセンター 発行日: 2018年 5月10日

